

「生きるを支え合うまち小樽を目指して 小樽市自殺対策計画（素案）」の修正点

	修正前	修正後	修正理由				
1	<p>6ページ 3 年齢別の状況（1行目）</p> <p>年齢別自殺者数・割合（図6）の状況では、60歳以上の自殺死亡数が34人で、全体の33.3%となっています。</p>	<p>※下線部が修正部分</p> <p>年齢別自殺者数・割合（図6）の状況では、<u>20歳未満の自殺者数が2人で全体の2.0%、20歳代から50歳代までが66人で64.8%、60歳代以上が34人で33.3%</u>となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他年齢層の状況を追加 				
2	<p>19ページ ② 自殺対策を支える人材の育成</p> <p>＜主な取組＞</p> <table border="1"> <tr> <td>ゲートキーパー養成講座の開催 （保健所健康増進課）</td> <td>問題を抱えて自殺を考えている人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守る役割を担うゲートキーパーを養成するための講座を開催します。</td> </tr> </table>	ゲートキーパー養成講座の開催 （保健所健康増進課）	問題を抱えて自殺を考えている人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守る役割を担うゲートキーパーを養成するための講座を開催します。	<p>＜主な取組＞</p> <table border="1"> <tr> <td>ゲートキーパー養成講座の開催 （保健所健康増進課）</td> <td>問題を抱えて自殺を考えている人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守る役割を担うゲートキーパーを養成するための講座を、<u>相談業務従事者等を対象に開催</u>します。</td> </tr> </table>	ゲートキーパー養成講座の開催 （保健所健康増進課）	問題を抱えて自殺を考えている人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守る役割を担うゲートキーパーを養成するための講座を、 <u>相談業務従事者等を対象に開催</u> します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー研修の対象者を追加
ゲートキーパー養成講座の開催 （保健所健康増進課）	問題を抱えて自殺を考えている人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守る役割を担うゲートキーパーを養成するための講座を開催します。						
ゲートキーパー養成講座の開催 （保健所健康増進課）	問題を抱えて自殺を考えている人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守る役割を担うゲートキーパーを養成するための講座を、 <u>相談業務従事者等を対象に開催</u> します。						
3	<p>24ページ 第4章 自殺対策の推進体制（6行目）</p> <p>小樽市の自殺対策計画の進捗状況を、検証し評価を行うため、事業結果について「小樽市自殺対策協議会」、「小樽市自殺対策推進会議」で報告し協議を行い、PDCAサイクルにより計画を推進していきます。</p>	<p>小樽市の自殺対策計画の進捗状況を検証し評価を行うため、事業結果について、<u>年1回開催する</u>「小樽市自殺対策協議会」、「小樽市自殺対策推進会議」で報告し協議を行い、PDCAサイクルにより計画を推進していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「小樽市自殺対策協議会」、「小樽市自殺対策推進会議」の開催頻度を明確化 				